

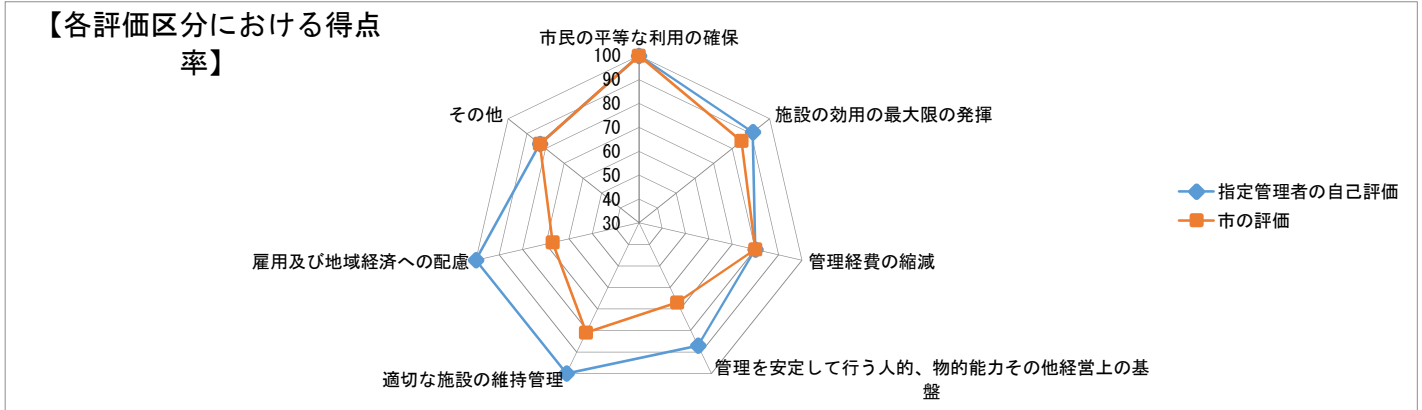
(様式2)

令和元（2019）年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

施設名称		郡山市ふれあい科学館		施設区分		事業実施型			
施設所在地		郡山市駅前二丁目11-1		指定管理者		公益財団法人郡山市文化・学び振興公社			
指定期間		平成31年4月1日～令和6年3月31日		施設所管部課		文化スポーツ部文化振興課			
評価項目		評価基準		配点	指定管理者自己評価	自己評価コメント	市評価	市評価コメント	特記事項
Ⅰ 市民の平等な利用の確保									
1	平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。 (例：使用許可、使用料等の減免、利用の制限等)		2	2	ユニバーサルデザイン化を推進し、誰もが平等公平に利用できる施設運営に努めた。	2	音声ガイドや指差会話板の導入、必要に応じたエレベーターでの案内	
2	危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。(例：マニュアル整備、訓練等)		2	2	マニュアルを整備し、日常の点検励行、定期的な訓練を実施した。	2	施設単独の防災訓練のほか、年3回のビル全体の避難訓練に参加。	
				小計	4	4		4	
Ⅱ 施設の効用の最大限の発揮									
3	管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。		4	4	市の方針等に基づき、施設の設置目的を達成するための管理運営に積極的に取り組んだ。	4	年次報告や学校の長期休業期間の特別開館や、花火大会の日にも高層ロビーの開放時間を延長するなど、サービス向上に努めているが、方針・仕様書以上の運営ではない。	
4	事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。 サービス向上の取り組みがなされているか。		10	8	コロナ対応の年度末を除き、計画通りに事業実施がなされた。	8	台風19号で被災した小学校の授業で理科の実験等のサポート事業を実施するなど、状況に応じた取り組みを行っている。	
5	広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。 (例：事業の開催案内、ホームページの管理 等)		4	4	市内外の教育施設への訪問営業やプログラムガイドやウェブでのPR広報に努めた。	4	facebookに加え、instagramやyoutubeを活用した幅広い工夫のほか、名倉館長である松本等士をテーマにしたイベントでラッピングカーを展示するなど、関心の高い層に向けたPR・交流も行った。	
6	接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。		4	3	「来てよかった、また来たい」と思っていたかという一層職員の意識向上に努めた。	3	適切な接客態度が心掛けられており、市民からの意見にも真摯に対応している。	
7	苦情・要望の把握・対応	利用者からの苦情、苦情を受けて、迅速に対応できているか。(記録簿整備を含む。) 特に重要な事案については、遅滞なく市へ報告している		4	4	要望や苦情などを職員で共有し改善を図るとともに、重要案件については速やかに市へ報告をした。	3	要望や苦情などは職員間で共有し改善が図られており、必要に応じ速やかに市へ報告されている。	
8	市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。 (例：施設間の巡回・相互利用、地元とのタイアップ、積極性 等)		4	4	市の天文学の拠点施設として大学や企業、国立天文台などと連携した事業を推進した。	4	学校へのパネル展示や地域公民館での星空観察の事業など地域活動への参加をしており、県内の大学等教育機関や企業との連携事業にも積極的に取り組んでいる。	
9	利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。		3	3	一般来館者や団体利用者のアンケート内容を職員で共有し、改善を図った。	2	宇宙劇場でのひざ掛けの提供、障がい者や妊婦への対応に係る研修に参加し、施設内の案内表示・方法を見直した。	
				小計	33	30		28	
Ⅲ 管理経費の縮減									
10	帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。 契約にあたり、適正な経費算定(積算)が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。		5	5	契約書類等の管理を適正に行い、業務委託や購入の際は入札等を行い適正な価格での発注に努めた。業務委託等の管理の状況は良好であった。	5	適切な帳簿管理・経理が行われている。	
11	収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取組みを推進しているか。 指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。		5	3	写真集を販売し独自の収入確保に努めている。予算執行は、収入の状況に応じ支出の縮減に努めた。	3	利用料金収入が減少したものの、天文の写真集を販売するなど、独自の収入確保に努めている。	【利用料金収入】 R1：25,852,840円 H30：26,679,420円 (-3%)
				小計	10	8		8	
Ⅳ 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤									
12	人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。 必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。		5	4	職員の資質向上を図るため研修の充実と働きやすい職場環境の充実に努めた。	3	提案時に予定していた正構職員1名の欠員があったものの、代替人員を配置しサービスの低下を招かないよう施設の運営に努めた。水準どりの体制である。	
13	収支状況	収支予算書どりの収支状況となっているか。		5	4	収入支出ともに概ね予算書どりの収支状況となっている。	3	支出減により収支の黒字を確保しており、写真集販売等による独自の収入確保に努めているが、利用料金収入は減少した。	
14	連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。 市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。		5	5	市への提出書類、届出、協議を適切に行うとともに、懸案事項については逐次相談に心がけた。	4	各種手続きが適切であり、入居するビックアイ管理組合とも連携調整が行われている。	
				小計	15	13		10	
Ⅴ 適切な施設の維持管理									
15	施設・設備の保守管理	法定点検が確実に実行されているか。 施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。(修繕を含む。)		10	10	法定点検を確実に実施し、施設・設備の適切な保守管理に努めた。	8	施設・設備の点検を確実に実行しており、情報共有を図っているほか、市への報告も速やかである。また、長期的な修繕の見込みについて市に報告・提案を行っている。	
16	安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。		4	4	安全確保のための日常点検を行い、不良箇所の早期発見に努め市に連絡相談の上適切に対処した。	3	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているが、申請時水準を上回らなかった。	
17	清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。 市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。		4	4	利用者が快適に利用できるよう整理整頓、清掃・衛生管理に努めた。	3	適切に管理されているほか、案内表示を新設する際、事前に養生するなど美観の維持に細心の注意を払っている。	
18	備品の管理	備品が適切に管理されているか。		2	2	利用目的に応じた適切な備品管理に努めた。	2	備品が適切に管理されている。	
19	持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。 (例：持ち込み物品等管理簿、表示 等)		2	2	持ち込み物品等の管理簿を作成し、適切に管理している。	2	持ち込み物品等が適切に管理されている。	
20	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。		2	2	条例や規則など法令を遵守し、適切な管理運営を行っている。	1	必要な点検、報告、手続きを行っているほか、朝礼・終礼で情報の共有を図っている。	
21	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。 個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。		2	2	外部講師を招き個人情報保護研修を行った。対応マニュアルも整備されている。	2	全職員を対象とした研修やマニュアルの共有のほか、日常業務においても随時注意喚起を図っている。	
				小計	26	26		21	
Ⅵ 雇用及び地域経済への配慮									
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。 労働条件への配慮は十分か。		3	3	正規職員、嘱託、臨時それぞれの雇用に応じた労働条件に配慮している。	2	臨時職員とも面談の機会を作り、より働きやすい職場に向けた要望の把握に努めているが、提案内容を上回る雇用・労働条件ではなかった。	
23	地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。 再委託は計画通り適正に行われているか。 市内事業者への再委託を行っているか。		3	3	地域経済にも配慮した職員採用や市内業者への再委託を行っている。	2	計画通りに地域経済に配慮した職員採用や業務委託が行われている。	
				小計	6	6		4	
Ⅶ その他									
24	活動指標	設定した指標の目標値(開館日数、情報誌及びウェブサイト等による情報発信)を達成しているか。		2	2	開館日数及び情報発信回数は達成できた。	2	開館日数：315/314日 情報発信回数：29/10回	
25	成果指標	設定した指標の目標値(宇宙劇場及び常設展示室入場者数)を達成しているか。		2	1	台風19号の影響及びコロナ感染拡大防止のための休館により、入館者数は達成できなかった。	1	施設利用者数：125,203/142,500人(87.9%)	
26	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか 地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか		2	2	市施策や方針に基づき、市有施設として高い満足度が得られるよう積極的に指定管理業務を遂行した	2	教育機関や企業等との連携事業を企画するなど、積極的な管理運営を行っている。	
				小計	6	5		5	
合 計 点				100	92		80		

実 績						
	令和元（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	合計
指定管理料（千円）	241,594					241,594
利用料金収入（千円）	25,852					25,852
利用者数（人）	125,203					125,203
二次評価（市の評価）	A					
備 考	台風19号や新型コロナウイルスによる影響が大きかった。					

サ ー ビ ス 向 上 対 策
学校団体向けに各学年の学習内容に直結した実験、ダイナミックな実験、知識の定着に結び付く実験と3つの特徴がある団体利用向け科学教室「サイエンススクール」をメニューに加えた。
年齢・対象者別にターゲットを限定したプラネタリウム番組を自主事業として放映した。（高齢者対象「いきいきプラネタリウム」や乳幼児とその保護者対象「ベビープラネタリウム」）
館の事業等の情報発信を積極に行った。（ウェブサイト年間219回更新、Facebook年間114回更新、Instagram年間52回更新、YouTubeチャンネルから施設PR動画放映）



評価	点数	評価内容
S	92	【総合評価（評価できる点等）】 ・団体向け科学教室「サイエンススクール」が学校団体から大変好評であり、科学館の運営にとって重要な役割である教育普及面での内容の拡大・充実を図ることができた。 ・SDGsの4「質の高い教育をみんなに」を焦点化し、その目標達成のために高齢者対象の「いきいきプラネタリウム」や乳幼児とその保護者対象の「ベビープラネタリウム」を放映することにより来館する機会や利用する機会の少ない方に大変好評であった。 ・Facebook、Instagram、YouTubeチャンネルから館の概要等を広範囲に多くの方に伝えることができ、効果的な広報ができた。 【次年度に向けて改善が必要な点】 ・入場者数及び事業収益の目標を達成するため、事業の内容や広報について考えていきたい。 ・来館者にまた来たいと思っていただけるよう、接客について職員の意識向上を図っていきたい。

評価	点数	評価内容
A	80	【総合評価（評価できる点等）】 ・乳幼児や高齢者といった、これまで来館する機会の少なかった層を開拓する事業を企画するなど、「SDGs未来都市こおりやま」が推進する「質の高い教育をみんなに」の理念に基づいた取り組みを積極的に行っている。 ・台風19号の影響により入館者数が減少する中、被災して理科室が使えない小学校の授業サポートを行うなど、地域のニーズを捉えた柔軟な取り組みを行っている。 【次年度に向けて改善を望む点】 市内、県内を対象とした営業活動や、SNS等を通じた積極的な広報活動をより効果的なものとするため、それぞれの取り組みの成果を確認し、具体的な企画に活用する必要がある。

【改善のための行動計画】
行動計画
【前年度の指摘事項】
【改善対応状況】